

語いと英語教育(23)

Student Talk (3)

「生徒の発話を促す言語活動と評価」

2000年2月10日

東京都中学校英語教育研究会

研 究 部

《 研究部のホームページ <http://www.eigo.org/kenkyu> 》

語いと英語教育(23)

Student Talk (3)

「生徒の発話を促す言語活動と評価」

2000年2月10日

目 次

あいさつ	実践的コミュニケーション能力の育成を目指して	3
研究部の歩み		4
今年度に至る研究経過		8
Student Talk (3)		
1	一昨年度の研究	
2	昨年度の研究	
3	今年度の研究	
各部会の報告		
第1部会	「生徒が使用する語いのコーパス分析と、 語い指導へのコーパスの活用」	10
第2部会	「生徒が話したいと思うトピックの調査・分析」	19
第3部会	「prepared speech から unprepared speech につなげる指導」	30
第4部会	「Student Talk の変容（録画による継続的授業研究）」	35
今後の課題		37
参考文献		37
編集後記		38

実践的コミュニケーション能力の育成を目指して

東京都中学校英語教育研究会
会長 宗方 隆三

平成14年度から実施の新学習指導要領のキーコンセプトは、「実践的コミュニケーション能力の育成」である。現行の外国語科の目標を念頭に置きながら、コミュニケーション能力の一層の重視を図ったものと思われるが、「実践的」としているのはどのような意味を持っているのであろうか。

「実践的」というコンセプトは、教育課程審議会の「答申」に次のように述べられている。

- ・「これからの国際社会に生きる日本人として、世界の人々と協調し、国際交流などを積極的に行っていけるような資質・能力の基礎を養う観点から、外国語による実践的コミュニケーション能力の育成にかかわる指導を一層重視する」
- ・「実践的コミュニケーション能力の育成を図るため、言語の実際の使用場面に配慮した指導の充実を図る」
- ・「国際化の進展に対応し、外国語を使って日常的な会話や簡単な情報の交換ができるような基礎的・実践的なコミュニケーション能力を身に付けることがどの生徒にも必要となっている」

それでは、「実践的コミュニケーション能力」とは具体的にはどのような能力であろうか。前述の教育課程審議会の答申の中身や新学習指導要領の中身から考えて次のようなものが「実践的コミュニケーション能力」であると考えられる。

日常的な会話や簡単な情報交換ができる能力……………基礎
情報や自分の考えなどを積極的に伝え合う能力……………応用

この「実践的コミュニケーション能力」を育成するためには、言語が実際に使用される場面や言語の働きに注意をはらって指導するばかりでなく、生徒が情報の受け手や送り手になるような具体的な場面を設定して、多様なコミュニケーション活動に取り組みさせることが大切である。

これらのことは、これまでの英語教育に取り入れられていなかったわけではないが、新しい学習指導要領の中には、はっきりと「言語の使用場面」「言語の働き」が「実践的コミュニケーション能力」の中心となる構成要素として述べられている。

中英研研究部では、他に先駆け、いち早く日常の授業で活用できる言語機能と言語形式について研究と実践に取り組み始め、Teacher Talk に5年間取り組み、引き続いて、平成9年度より、Student Talk について研究実践を積み重ねている。

これらの研究実践内容は、まさに新学習指導要領の基本概念を先取りしたものであり、これからの英語教育の指針になるものと確信している。

今年は今英連東京大会、来年は関プロ東京大会と相次いで大きな研究大会が開かれる。研究部の研究実践が単に東京だけでなく、全国の英語科教員にとって示唆の多いものになるよう今後の益々の活躍を期待してやまない。

研究部の歩み

東京都中学校英語教育研究会・研究部では、1976年（昭和51年）より下記のような研究を継続的に行ってきた。今年度の研究もこの延長線上にあるものである。

- 1976（昭和51）年度 「英語教師のニードとその資料源」
研究授業者：森永 誠（北区立赤羽台中学校）
指導講師：福田 大昭（都立教育研究所）
- 1977（昭和52）年度 「英語教師のニードとその資料源 その2」
「外来語と英語教育（1）」
- 小学校高学年教科書に現れた外来語リスト -
研究授業者：里見 光昭・宗政 剛郷（千代田区立麹町中学校）
指導講師：若林 俊輔（東京学芸大学）
- 1978（昭和53）年度 「外来語と英語教育（2）」
- 中学校英語教科書に現れた外来語リスト -
研究授業者：野中 清（江東区立深川第二中学校）
指導講師：若林 俊輔（東京学芸大学）
- 1979（昭和54）年度 「外来語と英語教育（3）」
- 外来語の強勢付加によっておこる変化 -
研究授業者：萩野 浩・須田 昌義（千代田区立一橋中学校）
指導講師：若林 俊輔（東京学芸大学）
- 1980（昭和55）年度 「外来語と英語教育（4）」
- 英語の意味別頻度と外来語・英語の意味とのかさなり -
研究授業者：後関 正明（墨田区立両国中学校）
指導講師：若林 俊輔（東京学芸大学）
- 1981（昭和56）年度 「外来語と英語教育（5）」
- フォニックス（つづり字と発音のルール） -
研究授業者：小林 幸子（千代田区立錬成中学校）
指導講師：若林 俊輔（東京学芸大学）
- 1982（昭和57）年度 「外来語と英語教育（6）」
- 選定語いについて -
研究授業者：小西 照明（足立区立伊興中学校）
指導講師：堀口 俊一（東京学芸大学）

- 1983 (昭和58) 年度 「語いと英語教育 (7) 」
 - 選定語い (2) ・ 発表語い (1) ・ 外来語と英語教育 (7) -
 研究授業者：長 勝彦 (江東区立第三亀戸中学校)
 指 導 講 師：若林 俊輔 (東京外国語大学)
- 1984 (昭和59) 年度 「語いと英語教育 (8) 」
 - 発表語い (2) 外来語と英語教育 (8) -
 研究授業者：蔦原 秀子 (新宿区立西戸山中学校)
 指 導 講 師：森住 衛 (大妻女子大学)
- 1985 (昭和60) 年度 「語いと英語教育 (9) 」
 - 「英語基本語い1000語」と「補足460語・外来語(英語)400語」
 Interim Report
 「外来語と英語教育 (9) 」
 言葉遊びをとり入れての指導実践例 -
 研究授業者：長 勝彦 (墨田区立両国中学校)
 指 導 講 師：若林 俊輔 (東京外国語大学)
- 1986 (昭和61) 年度 「語いと英語教育 (10) 」
 A. 英語・基本語い1000語・Appendices
 B. 授業の中でどのように語いをふやすか
 C. C L T (Communicative Language Teaching) について
 研究授業者：日臺 滋之・Ms. Yvonne Broekman (Australia)
 (新宿区立牛込第三中学校)
 指 導 講 師：隈部 直光 (大妻女子大学)
- 1987 (昭和62) 年度 「語いと英語教育 (11) 」
 A. 基本語いの定着化 - 授業の中でどのように語いをふやすか (Part 2) -
 (Bingo Game , Guess Work , Pair Work & Skit を行って)
 B. CLT(Communicative Language Teaching) と CF(Communicative Functions) について
 - 東京都公立中学校で使用されている 4 種類の教科書に現れる
 Functions (言語機能) / Forms(言語形式)の学年別 Function List -
 C. Assistant English Teacher に関するアンケート調査のまとめ
 - AET 導入の年数・採用方法・派遣状況・派遣時数・その他 -
 研究授業者：青木 弘子・Mr. Phillip Roberts (Australia)
 (新宿区立牛込第三中学校)
 指 導 講 師：塩澤 利雄 (宇都宮大学)

1988 (昭和63) 年度 「語いと英語教育 (12)」

A. NHK ラジオ続基礎英語 (1986.4 ~ 1987.3) の dialogs に現れる
伝達機能とその言語形式

B. 日常の授業で活用できる伝達機能とその言語形式

研究授業者: 福井 康真・Ms. Robarta Schudrick(U.S.A.)(千代田区立九段中学校)

指導講師: 萩野 浩 (聖徳短期大学)

1989 (平成元) 年度 「語いと英語教育 (13)」

CLT(Communicative Language Teaching)と CF(Communicative Functions)について
東京都公立中学校で使用されている4種類の教科書に現れる

Functions (言語機能) / 例文の List

研究授業者: 鶴田 峰子・太郎良 博 (大田区立南六郷中学校)

指導講師: 斎藤 誠毅 (神奈川大学)

1990 (平成2) 年度 「語いと英語教育 (14)」

A. 日常の授業で活用できる言語機能とその言語形式 (続)
- 実情報にかかわる機能 -

B. 東京都公立中学校における英語教育実態調査報告

研究授業者: 山本 展子・Mr. Frank Berberich (U.K.)

(江東区立深川第七中学校)

指導講師: 島岡 丘 (筑波大学)

1991 (平成3) 年度 「語いと英語教育 (15)」

日常の授業で活用できる言語機能とその言語形式 (続々)

- 意志・感情にかかわる機能の言語形式の Register について -

研究授業者: 二宮 正男 (狛江市立狛江第一中学校)

指導講師: 青木 昭六 (愛知学院大学)

1992 (平成4) 年度 「語いと英語教育 (16)」

A. Teacher Talk (1)

B. 日常の授業で活用できる言語機能とその言語形式

- 意志・感情にかかわる機能の言語形式の Register に対する Native
Speaker の Comments -

研究授業者: 北原 延晃 (杉並区立和田中学校)

指導講師: 上田 明子 (津田塾女子大学)

1993 (平成5) 年度 第17回関東甲信地区中学校英語教育研究協議会東京大会

Teacher Talk (1)

研究授業者: 杉本 薫 (墨田区立両国中学校)

指導講師: 若林 俊輔 (東京外国語大学)

- 1993 (平成5)年度 「語いと英語教育(17)」
Teacher Talk (2)
研究授業者：重松 靖(府中市立第七中学校)
指導講師：金谷 憲(東京学芸大学)
- 1994 (平成6)年度 「語いと英語教育(18)」
Teacher Talk (3)
研究授業者：三浦 邦彦(足立区立第三中学校)
指導講師：森永 誠(聖徳大学短期大学部)
- 1995 (平成7)年度 「語いと英語教育(19)」
Teacher Talk (4)
研究授業者：石井 亨(江東区立南砂中学校)・Mr. John Walding (U.K.)
指導講師：佐野 正之(横浜国立大学)
- 1996 (平成8)年度 「語いと英語教育(20)」
研究部の歩みと
「語いと英語教育」第1集～19集のダイジェスト版
研究授業者：長 勝彦(墨田区立両国中学校)
- 1997 (平成9)年度 「語いと英語教育(21)」
Teacher Talk (5)
Student Talk (1)
研究授業者：太田 洋(東京学芸大学附属世田谷中学校)
指導講師：投野由紀夫(東京学芸大学)
- 1998 (平成10)年度 「語いと英語教育(22)」
Student Talk (2)
研究授業者：原田 博子(江東区立深川第五中学校)
指導講師：和田 稔(明海大学)
- 1999 (平成11)年度 「語いと英語教育(23)」
Student Talk (3)
研究授業者：小柳 守生(葛飾区立亀有中学校)
指導講師：松本 青也(愛知淑徳大学)

今年度に至る研究経過

Student Talk (3)

1 一昨年度（平成9年度）の研究 Student Talk (1)

それまでの5年間にわたる Teacher Talk の研究成果を踏まえ、Student Talk の研究に取りかかった。

(1) 研究方法

研究部員の授業実践の中から特に「生徒の発話を促す言語活動と評価活動」を取り上げ、その中で生徒が実際にどんな発話をしたのか、をデータとして抽出した。生徒の活動形態としては skit 7例、speech 4例、show & tell 3例、ALTへの half-prepared interview とALTとの impromptu dialog がそれぞれ1例であった。

また、Student Talk のコーパス作りの基礎として東京学芸大学（当時）の投野由起夫先生（ランカスター大学言語学科博士課程）より、コンピュータ・ソフトを使用してのデータ分析（語いの出現頻度、出現箇所、コロケーション等）の演習をしていただいた。

(2) 研究成果

研究部員という限られた範囲ではあるがバラエティに富んだ生徒の活動形態が集まった。また、Student Talk はその授業者の Teacher Talk を反映していると思われるものもあり、前年までの Teacher Talk 研究の成果が実証できた。

ただ、データ不足とデータの活用法については今後の研究の進行に待つ部分が多く残された。

2 昨年度（平成10年度）の研究 Student Talk (2)

(1) 研究方法

昨年度は一昨年度に収集したデータの元となる授業に焦点を当てた。Student Talk を促す言語活動・評価方法をデータの収集と共に活動の柱にしたのである。すなわち一昨年度のデータがどのような授業実践から生まれたのかを詳しく記述することにより、研究部員以外の先生方が同じような言語活動・評価方法を追試できるようにした。具体的には一昨年度のデータを拾った言語活動・評価方法の詳しい Production Data を掲載した。

(2) 研究成果

授業の詳しい記述から他の研究部員の実践の内容・成果がはっきりわかり、各自の取り組みにプラスになることが多かった。

また、30名近い部員を抱えるため日頃の話合いが十分ではなかったという反省が出された。

3 今年度（平成11年度）の研究 Student Talk (3)

昨年度の反省の上に立ちもう一度研究の流れを洗い直してみた結果、Student Talk 研究の基礎として多方面にわたるきめ細かい調査・分析が必要だということがわかった。そこで今年度は以下の4つの部会を設け研究部本来の少人数による緻密な研究をすることになった。そうすることによって Student Talk の諸相に多角的に迫っていけると考えたためである。

第1部会・・・ Student Talk のデータ収集とコンピュータを使った分析方法をさぐる。

第2部会・・・生徒が話したいと思うトピックを調査・分析する。

第3部会・・・ prepared speech から unprepared speech につなげる指導について部員の実践例を元に検討する。

第4部会・・・年間3回のビデオ録画を通じて Student Talk の変容の過程をさぐる。

また、夏休みには英国ランカスター大学から一時帰国した投野先生を囲んで研究の方向性を話し合った。さらに「研究は日頃の授業から」という原点に立ち戻って、お互いの授業を見ることを昨年以上に推進した。具体的にはそれぞれの区・市で行われる研究授業、公開授業、検証授業に研究部員が参加できるように毎月の研究部会で情報交換を密にした。

各部会の報告

1 第1部会 生徒が使用する語いのコーパス分析と、語い指導へのコーパスの活用

(1)コーパスの考え方を導入するまで

昨年の研究では、Student Talk の活性化を促す指導方法や言語活動について研究部員の中での実践を素材として追求してきた。その方向は今年度も第3グループが引き継いでいる。しかし、Student Talk そのものの質と量についての分析にはまだ手を付けられないままであった。そこで、この第1グループはコーパス(corpus)言語学の考え方を導入し、日本人中学生の英語学習における Student Talk の収集と使われている語いの分析を試みることにした。こういった行き方は昨年度までにも、東京学芸大学(当時)の投野由紀夫先生(現リカスター大学言語学科博士課程)の指導を受けながら検討してきてはいたし、研究部員の中で個人研究としてのアプローチもあった。ここでは、この方向の研究の有効性を確認し、今後研究部として推進する基本的な研究方法を確立する第一歩として取り組むことにした。

まず最初の課題は、Student Talk のテキスト・データの確保である。我々が直接、記録のビデオや音声テープ、またスクリプトから入力するのは大きな負担であることは言うまでもない。後述する実践例では、生徒に直接データ入力を行わせる方法を試みた。

[用語について]

コーパス(corpus)...一般に「コーパス」とは一定の基準にしたがって言語資料を収集したものをさしますが、昨今ではもっぱらコンピュータで言語資料を処理する「コンピュータコーパス」をさすようになってきました。このコーパスを使ってどのような言語研究が可能であるかその方法を論じたり、実際に言語研究を行ったりする学問分野を「コーパス言語学」(corpus linguistics)と呼んでいます。

(『コンピュータを使った英語教師のための英語研究』Cornucopia Winter 1999 井上永幸, 桐原工)

コンコダンス(concordance)...ある語がその本や文学作品の中でどのような文脈で使用されているかをアルファベット順に示した「用語索引」を指すが、コーパス言語学では検索語が画面の中央にくるように KWIC 表示されたテキストデータのこと。

(『実践コーパス言語学』鷹家秀史、須賀 廣/1998/桐原工)

KWIC 表示... Key Word In Context キーワードを中央に配し、その前後に現れる語を容易に一覧できる表示方法。この紀要では表4 (16-18ページの図)の表示形式です。

(2) 授業の中での限定された話題と言語活動で使用される語いについての調査

調査対象としたビークと言語活動

コーパスの考え方をを用いて Student Talk における使用語いを調査しようという試みは、まず一人

の教師の特定の言語活動に的を絞って行った。話題も言語材料もごく限られた範囲のものである。

ここで実践例として紹介するのは、T中学校における2年生114名(男子63名、女子51名)を対象としたスピーチ指導である。この指導は、平成11年9月から10月にかけて行われた。使用した教材はNew Crown Book 2, Lesson 7 "My Dream"である。

生徒のスピーチは教科書の内容をひとつおりに指導した上で、その内容を元に、自分の将来の夢を発表する形で行われた。スピーチの発表に至るまでの段階は以下の通りである。

- Aスピーチのモデルは教科書の本文なので、授業の中で十分に音読練習を行う。
- B教科書を読み進めることと並行して、各自の「将来の夢」について考えさせる。
- Cスピーチの長さは概ね、最大で本文と同じぐらい、最小でLesson 7の直後にあるLet's Write 3「将来の職業」程度とする。
- Dここまでの指導は発表の一週間前には済ませておき、生徒には原稿書きと個人練習を指示する。
- E希望者には、原稿の内容や表現についての指導をする。できるだけ本人のアイデアと語い選択を生かして指導する。
- FALTには、スピーチの形式についての指導、発表にあたっての注意事項等の指導に当たってもらうほか、この原稿の点検や発音等の音声指導にも協力してもらう。
- G辞書は自由に使わせる。ただし、初めての語を使うときは、発音や語法など確認させる。

このような指導を経て、スピーチ発表に至った。発表は、教室前方にスピーチテーブルを用意し、録音用のマイクを設置。正面からビデオ撮影した。全員の撮影後に、ビデオを再生しながら、音声や内容の点で良かったスピーチを選ばせた。また、ALTには特にスピーチらしい雰囲気の出ているもの、JTEは内容に工夫のあるものというそれぞれの観点からいくつか優秀スピーチを選出した。

調査と分析の方法

スピーチ発表後にコンピュータ室を利用して、生徒に各自のスピーチ原稿をテキスト入力させた。これらのデータは今後も蓄積され、生徒にとっての記録となるだけでなく、後日同じような指導を行うときの教材としても利用できる。

データはさらに、簡単なスペルチェックを行った。これは、生徒のミスタイプによるデータの不備を補い、少なくとも生徒が使おうとしていた語いをできるだけ正確に把握するためである。

分析データ WordSmith Toolsで行ったデータ処理と分析は以下の表の通りである。

表1	スピーチで使用された語いのリスト(頻度順)	14ページ
表2	スピーチで用いられた職業を表す語いの使用頻度	15ページ
表3	want to - のコンコダンス	16ページ
表4	want to + 動詞(be 動詞以外)で使われた動詞の種類と頻度(アルファベット順)	18ページ

コンコダンス(concordance)の調査 ... want to be -の表現に注目して

このレッスンで学習した want to + 動詞の原形(be 動詞も含む)の表現について、このデータ分析からいくつかの点を指摘すると以下ようになる。

Aこのレッスンにおける want の出現頻度数は(258)である。レッスン活動に参加した生徒総数が114名なので、ほぼ全ての生徒が二回以上使った計算になる。そしてその使い方に注目すると次の表のような形態に分類できる。

文型頻度は1.3, 1.4が頻出。これは、このレッスンでの中心的な指導目標になる表現であることと教科書のレベルのレッスンに具体的な例が提示されていることから当然の結果だろう。

学習者の want の使用例 (文法面)		頻 度	%
1.1	want + 名詞	2	0.7 %
1.2	want + 名詞 + to ~	9	3.5 %
1.3	want + to be + 名詞	99	38.8 %
	want + to be + 形容詞	3	1.2 %
1.4	want + to + 一般動詞	117	45.3 %
1.5	エラー(文法・語法上の誤り)	26	10.5 %

B この中でこのレッスンで新しい表現として指導した[1.3 want + to be + 名詞]について特に注目すると、want to be + に続く職業を表す名詞は表2にあるように(97)になる。

職業の名詞としては、nursery school teacher が9回で最も多く登場した。その後に、police officer, guitarist, beautician, cartoonist, dog trainer, fire fighter, game designer, vetなどが続く。これらは3回以上使われたもので、他に10語が2回、38語が1回のみ使用だった。

C さらに、これもこのレッスンで初出の表現だが、[1.4 want + to + 一般動詞]で使われた 動詞の種類は35で、使用語と使用頻度数は表4のようになる。

ここで使われた動詞は、45種類になる。特に make, help, run が頻出している。このうち run については、「お店を経営する」という意味で使われている。

(3) 言語活動に活用するための視点

指導の定着の様子を調べる

生徒の使用語いに注目すれば、まず第一に授業での指導内容の定着度を確認することができる。ただし、ここでの実践例では、新しい表現の指導の直後に行われた活動であること、話題が「将来の職業」というようになりに限定されていることなどを考えると、「定着の様子を調べる」と言うよりは、「定着に至る過程を確認する」という方がふさわしいかもしれない。

定着という言い方ならば、この時期にはすでに既習の語法、例えば三人称単数現在の動詞変化や過去形の表現などに注目して行うことも可能である。今回は元になる student talk のデータの絶対量が少ないので、そこまで行うことはできなかった。

例えば「日記をつける」や「昨日の夜の過ごし方」「日曜日の記録」などのように継続的に、英語を書いたり話したりする活動を積み重ねてデータを集めていくと学習内容の定着についてさらに詳しい分析ができるはずである。

また、後の(表3)で分かるように、生徒の犯しやすい間違いの分析もこの中で可能になる。今回の誤りの例としては、want の後に to を入れないものが目立った。

ピクから語いの導入の時期、方法、教材の適切さなどを検討する

中学二年生に「将来の職業」という題材でピクを書かせるには、どのような語いの指導が事前に必要なのだろうか。我々は経験的に教科書中の語いだけでは到底足りないことを知っている。そこで、word bingo game や pairwork などの教材で必要そうな語をある程度補充しておくことが一般的だろう。また、進路指導の一環として、身の回りの職業などを調べておくことなども考えられる。

しかし、それでもやはり加しきれない語いが現れている。今回の実践例では97種の職業が使われた。それだけ生徒の興味が多様化している。辞書を引くことを含めて、新しい表現や語いを積極的に取り入れて発表する態度も評価できるだろう。また、[1.4]で使われた動詞が教科書の既習語いや用法を越えて35種と広範囲であった。これらは、本例では ALT の存在も大きく、日頃から「英語で表せない言い方」を何とか解決させていこうとする指導の積み重ねもあった。

これがさらに本格的で大規模な学習者コーパスとして実用可能なものになったら、こういった指導の方法や教材の作成などの研究に大いに生かせることは間違いない。

表1 ｽﾍﾟｰﾁで使用された語いのリスト (頻度順、総語数は5350語、
%は総語数に対する出現数の割合を示す)

順	語い	頻度	%
1	I	545	10.2
2	TO	370	6.91
3	WANT	258	4.82
4	A	205	3.83
5	BE	152	2.84
6	GOOD	113	2.11
7	LIKE	110	2.05
8	YOU	97	1.81
9	MORNING	95	1.77
10	THANK	94	1.76
11	THE	85	1.59
12	AND	83	1.55
13	MY	73	1.36
14	SECOND	73	1.36
15	FIRST	69	1.29
16	VERY	68	1.27
17	IS	53	0.99
18	BECAUSE	50	0.93
19	MANY	49	0.92
20	IN	48	0.9
21	PEOPLE	43	0.8
22	SO	41	0.77
23	FOR	38	0.71
24	MAKE	37	0.69
25	OF	37	0.69
26	WHY	32	0.6
27	DO	31	0.58
28	WHEN	31	0.58
29	WILL	29	0.54
30	HAPPY	26	0.49
31	PLAY	24	0.45
32	AN	23	0.43
33	CHILDREN	23	0.43
34	KNOW	23	0.43
35	AM	22	0.41
36	EVERYONE	22	0.41
37	HELP	22	0.41
38	IT	22	0.41
39	SCHOOL	22	0.41
40	HAVE	21	0.39
41	I'M	21	0.39
42	MUCH	20	0.37
43	WITH	20	0.37
44	THINK	19	0.35
45	ARE	18	0.34

順	語い	頻度	%
46	BUT	18	0.34
47	FRIENDS	18	0.34
48	THEM	18	0.34
49	DREAM	17	0.32
50	THAT	17	0.32
51	CAN	16	0.3
52	GO	15	0.28
53	PLAYER	15	0.28
54	TEACHER	15	0.28
55	WORK	15	0.28
56	FUTURE	14	0.26
57	HARD	14	0.26
58	THIS	14	0.26
59	GAME	13	0.24
60	WORLD	13	0.24
61	WRITE	13	0.24
62	BOOKS	12	0.22
63	FAMOUS	12	0.22
64	HAIR	12	0.22
65	HELLO	12	0.22
66	LASTLY	12	0.22
67	ME	12	0.22
68	NOW	12	0.22
69	NURSERY	12	0.22
70	ONE	12	0.22
71	OR	12	0.22
72	THIRD	12	0.22
73	ABOUT	11	0.21
74	EVERY	11	0.21
75	FROM	11	0.21
76	GUITAR	11	0.21
77	JOB	11	0.21
78	LIFE	11	0.21
79	RUN	11	0.21
80	THEY	11	0.21
81	ALL	10	0.19
82	BALLOON	10	0.19
83	BASEBALL	10	0.19
84	BEAUTICIAN	10	0.19
85	GOING	10	0.19
86	INTERESTING	10	0.19
87	SONGS	10	0.19
88	THINGS	10	0.19
89	WAS	10	0.19

(10回以上出現した語のみ、以下776位まで省略)

表2 スピーチで用いられた職業を表す語いの使用頻度

順	語い	頻
1	nursery school teacher	9
2	police officer	6
3	guitarist	5
4	beautician	4
5	cartoonist	3
	dog trainer	3
	fire fighter	3
	game designer	3
	vet	3
10	baseball player	2
	carpenter	2
	chef	2
	children's doctor	2
	engineer	2
	magazine writer	2
	singer	2
	soccer player	2
	song writer	2
	tennis instructor	2
20	archaeologist	1
	architect	1
	astronaut	1
	balloon artist	1
	basketball player	1
	cook	1
	designer of computer games	1
	detective	1
	diving instructor	1
	doctor	1

順	語い	頻
20	electrical engineer	1
	entertainer	1
	fright attendant	1
	gymnast	1
	gymnastic teacher	1
	hair stylist	1
	history teacher	1
	illustrator	1
	inventor	1
	journalist	1
	juggler	1
	massagist	1
	movie magazine writer	1
	novelist	1
	oceanographer	1
	painter	1
	park ranger	1
	pharmacist	1
	pilot	1
	professional baseball player	1
	professional drummer	1
	professional musician	1
	radio D.J.	1
	scientist	1
	swimming school instructor	1
	tennis player	1
	the president	1
	writer	1
	合計	97

N Concordance

1 yling hair and cutting hair. Second, I want a person's hair style to fit. Than
 2 I am interested in electric. Second, I want anyone to use electric in safe. Th
 3 to a wire to make an object. Why do, I want be a Balloon artist? First, I saw
 4 I want be a nursery school teacher. First
 5 Good morning. Everyone I want be a badminton player. Because, I
 6 Good morning. I want be a carpenter. Because I like to
 7 'Good morning' I. want be a veterinarian a doctor for anim
 8 I want be a pilot, Good morning, I want be a pilot, Do you know why? Beca
 9 I want be a pilot
 10 Hello, everyone. I want be a guitarist. First, guitar. Se
 11 Good morning, everyone. I want be a sailor. Do you know why? Fir
 12 I want be a pilot, Good morning, I want
 13 Good morning. I want be a sports trainer. Why? First,
 14 I want be a beautician. Why? First I like
 15 Good morning friends. I want be a beautician. Do you know why?
 16 Good morning evry one. I want be a veterinarian.It is an animals
 17 ter. Because I like to make things. I want build houses. I want to build the
 18 I want to be a police officer. First I want catch a thief. And I want to be fa
 19 e a pilot, Do you know why? Because I want fly in the sky. and go abroad be my
 20 e hair of models and famous people, and want have a shop, Fourth, I want to do
 21 eef, colorful fish, and flying squid. I want know more. I'm studying to be an o
 22 ntries and study various dishes. And I want many people to eat my dishes. I wa
 23 weddings and departmen tstores. Then I want many people to enjoy Balloon art.[^
 24 happy. So I play the piano because I want many people to understand this happ
 25 ample, AIDS and many cancers. Third, I want money. Thank you.
 26 So I think I will study hard. And, I want my dreams to come true. Thank you
 27 to live in my own house In the house I want my own hobby room Thank you
 28 nt to give to Dreams to many people. I want people to enjoy the world of books.
 29 . Second, I want to go a world cup. I want the people of the world to see me p
 30 nt to cut a lot of people's hair. And I want them to say "great!!" Second, I wa
 31 se my imagination and make tales. So I want to a music related job in the futur
 32 read. Because bread is good. Second I want to any kind of store. Because it i
 33 people to listen to my songs. Third, I want to appear on Music Station and I wa
 34 good morning every one I want to be a dog trainer Do you know wh
 35 ood morning I want to run CD shop or I want to be guitarist Because I like mu
 36 nd playing tennis is very fun. Third I want to be a tennis instructor all my li
 37 ars ago. I was very sad. So I think I want to be a vet. Thank you!
 38 Good morning every one. I want to be a tennis instructor. First I
 39 aster, One melody an till decenber, I want to be a professional musician,
 40 tar. I want to play the guitar too. I want to be a good at guitarist from now.
 41 good morning. I want to be a nursery school teacher. Be
 42 Good morning. I want to be a dog trainer. First, I like
 43 Good morning. I want to be a chef for two resons. First
 44 I want to be a beautician. Good morning,
 45 Good morning everyone. I want to be a history teacher. Do you kn
 46 Good morning. I want to be afire fighter. because I lik
 47 Good morning. I want to be a pharmacist. Because, it lo
 48 nd I will make my beauty shop. There I want to be the president Thank you.
 49 friend morning friends I want to be a fire fighter first Because
 50 t to talk to many people in English. I want to be a cook, too. Because I want
 51 Good morning. I want to be a journalist. First, journal
 52 y people like reading magazines. So, I want to be a magazine writer. Thank you
 53 us will have some job in the future. I want to be a police officer. First, I I
 54 Dream is Inventor. Hello! everyone. I want to be an Inventor and I went to be

169 ies of my nursery school teacher. So I want to give very nice memories to them.
 170 hen I'm going gymnastics I am happy. I want to give that "happy" to my students
 171 e I want to make a pizza and sweets. I want to go many countries and study vari
 172 like to see various kind of fish. So I want to go to many countries and I want
 173 ond, So I can travel all over world. I want to go to America. I want to see my
 174 So I play soccer every day. Second, I want to go a world cup. I want the peop
 175 protect sea's environment. Lastly, I want to go around the world by ship. Th
 176 sky. and go abroad be my self. First I want to go to America. Second go to Can
 177 uild the biggest house in the world. I want to great carpenter. Thank you.
 178 I want to run a Japan's no.1 bakery. I want to grow it from a small
 179 o understand this happiness. second, I want to grow into a very good student.
 180 I think teaching is interesting too. I want to grow up to be a big player like
 181 e my hospital in order to help them. I want to have a lot of experience for tha
 182 rst, I like dogs. I have a dog. And I want to have more dogs. But it is diffi
 183 e my hospital in order to help them. I want to have a lot of experience for tha
 184 f First I like to eat a dish Second I want to have my store and make a dish al
 185 , Fourth, I want to do face make up, I want to help change people's images. Th
 186 e officer. Do you know, Why? First, I want to help people in trouble But, to
 187 ed dogs so I want to work with dogs I want to help dogs to help people for th
 188 u know why? First, I like children. I want to help many sick children. Second
 189 u know why? First, I like children. I want to help many sick children. Second
 190 gun. I want to catch the criminal. I want to help the needy peple. Thank you
 191 hines they are very interesting. And I want to help people. Thank you.
 192 First, I want to fight fire. Second, I want to help a people. Thank you.
 193 t, I like animals very much. Second, I want to help suffering animals. Lastly,
 194 nt to be a police officer. because. I want to help troubled people. and usefu
 195 or accident around us. So I thought I want to help their hands or feet any mor
 196 yone. I want to be a doctor. First, I want to help people. I take cure sick m
 197 very nice memories to them. I think I want to help them grow for the future.
 198 ng experiments Second as a scientist I want to invent a way to stop water poll
 199 rst, I like to magic tricks. Second, I want to learn Great magic. Thank you.
 200 I wanted to be an entertainer Second I want to live in my own house In the hou
 201 nter. first,I like to make. second, I want to make my house. I will work hard
 202 to help many sick children. Second, I want to make my hospital in order to hel
 203 to help many sick children. Second, I want to make my hospital in order to hel
 204 eered me up with his kind lyrics. So I want to make encouraging lyrics. Thank
 205 me famous as a game designer. Second I want to make new game. Thank you.
 206 py story or an impressive story and I want to make people happy. Thank you.
 207 to make my house. I will work hard. I want to make houses for many people. Th
 208 me famous as a game designer. Second I want to make new game. Thank you.
 209 people are together for a long time. I want to make great houses for people. T
 210 . I want to be a cook, too. Because I want to make a pizza and sweets. I want
 211 y I will become famous guitarist and I want to make many good songs. thank you
 212 I want many people to eat my dishes. I want to make them happy. When I went to
 213 ant to catch the criminals. Because, I want to make this town without any crim
 214 st, I like music very much. Second, I want to make friends with many musicians
 215 cutting hair and styling hair Second I want to make many people beautiful Thir
 216 First, I like to sing songs. Second, I want to many people to listen to my song
 217 friends wear for members, As we can we want to master, One melody an till dece
 218 very important for everyone. Second, I want to meet my favorite entertainers. T
 219 . I enjoy doing gymnastics. Second, I want to participate in the Olympics and
 220 friends with many musicians. Third, I want to play good songs for everybody.
 221 ecause I like children very much. So I want to play with children and to take c
 222 r. When my friends play the guitar. I want to play the guitar too. I want to
 223 ren. Children are very cute. First, I want to play with children. I like to p
 224 and I like to care of children. So, I want to play nap, and eat lunch with chi
 225 hairstyles ,when I am free. Lastly,I want to please people. thank you.

226 Sea's environment is becoming worse. I want to protect sea's environment. Las
 227 ecause I like bo help people. second I want to put out fires. thank you.
 228 a veterinarian a doctor for animals. I want to run my own hospital for animals.
 229 hopper's enjoy playing games. Second I want to run a very big shop and prepare
 230 Good morning. I want to run a bakery. First I like brea
 231 Good morning. I want to run a lunch store. Because I l
 232 to me. Third If I can run a bakery. I want to run a Japan's no.1 bakery. I wa
 233 Good morning every one. I want to run sushi restaurant. Do you kn
 234 Good morning I want to run CD shop or I want to be guit
 235 Good morning. I want to run a ramen shop. Why? First, I
 236 I you about my dream for the future. I want to run a game shop. Do you know why
 237 ver world. I want to go to America. I want to see my aunt and cousin. So to s
 238 So I want to go to many countries and I want to see various fish and coral. But
 239 want to be an astronaut. why? First, I want to see the earth from the universe.
 240 decreasing traffic accidents. Second I want to see the peace city my self. Tha
 241 st, I like to draw pictures. Second, I want to show my pictures to many people.
 242 asant for her. she fells very happy. I want to study how to massage. I will wor
 243 'm be interested in history. Second, I want to study history from now on. and
 244 nch. My mother runes a lunch store. I want to take after my mother. And every
 245 I want to work for a hotel. Because I want to talk to many people in English.
 246 was child. Second. I like to talk so I want to talk with many people. Third I
 247 will grow in to a tennis instructor. I want to teach everyone. I want to be a
 248 orld. When I write, I'm very happy. I want to tell many people about a songs p
 249 ef. And I want to be famous. Second I want to use a handgun. But a common hum
 250 ant to create game designer. because I want to
 251 raffic accidents year after year. So I want to work for decreasing traffic acci
 252 nce I was young I have liked dogs so I want to work with dogs I want to help d
 253 Good morning everyone. I want to work for a hotel. Because I wan
 254 s, it is interesting for me. Second, I want to work for people. I think houses
 255 e writing and reading magazines. So, I want to write interesting magazine stori
 256 e DA PUMP!! Lastly, I like to write. I want to write good sentences, so I try t
 257 ell many people about a songs power. I want to write words for a long time. Th
 258 ead a book, your mind will be rich. I want write such books. Thank you.

表4 want to + 一般動詞で使われた動詞の種類と頻度(アルファベット順)

appear	1	draw	3	grow	3	play	5	teach	1
break	1	drive	1	have	4	please	1	tell	1
build	2	earn	1	help	13	protect	1	use	1
catch	3	eat	1	invent	1	put	5	work	4
cook	1	enjoy	1	learn	1	run	9	write	3
create	2	fight	1	live	1	see	4		
cut	4	find	1	make	15	show	1		
defend	2	get	2	master	1	study	2		
discover	1	give	3	meet	1	take	1		
do	2	go	6	participate	1	talk	2		

2 第2部会 生徒が話したいと思うトピックの調査・分析

(1) テーマ設定の理由

Student Talk の質と量は、教師が与えた語いや表現によって大きく影響されるのではないかと考えた。生徒が使いたいと思う語いや表現と、教師が提示するそれらとにギャップが生じている場合は Student Talk は活発に行われない。そこで、生徒の興味・関心を知るために、生徒が話したいと思う場面 (situation) ・概念 (notion) や話題 (topic) の調査が必要である。今年度は話題 (topic) に焦点を当て、アンケート調査を実施した。

(2) アンケート実施

アンケートは2学期の始め、研究部員が所属するうちの22校の生徒を対象に、総計3000人(各学年1000人ずつ)に実施した。協力校は以下の学校である。

東京大学附属中学校
三鷹市立三鷹第四中学校
東京都立南大沢学園養護学校
武蔵村山市立第五中学校
足立区立江北中学校
江東区立南砂中学校
江東区立深川第五中学校
大田区立羽田中学校
豊島区立西巣鴨中学校
板橋区立板橋第四中学校
世田谷区立尾山台中学校
(以上、順不同)

町田市立本町田中学校
府中市立府中第七中学校
大田区立東調布中学校
町田市立忠生中学校
足立区立蒲原中学校
江東区立第三砂町中学校
杉並区立和田中学校
練馬区立練馬東中学校
中央区立佃中学校
墨田区立両国中学校
大田区立御園中学校

- 4 食べ物
- 5 音楽
- 6 芸能人
- 7 ゲーム
- 8 スポーツ
- 9 ペット
- 10 習い事
- 11 自分の住む町
- 12 その他 ()

友人に関すること

- 1 遊ぶ約束
- 2 誕生日、血液型、星座
- 3 お金や物の貸し借り
- 4 おもしろいハプニング
- 5 ジョーク、クイズ
- 6 異性、恋愛
- 7 友達の紹介
- 8 その他 ()

その他

- 1 天気、天変地異、自然現象
- 2 病気、けが
- 3 道案内
- 4 日本文化
- 5 ニュース
- 6 その他 () *ご協力ありがとうございました。

(3) アンケート結果表 - 実数

設 問	1男	1女	1全	2男	2女	2全	3男	3女	3全	男全	女全	全学
1-1 家族紹介	199	202	401	168	188	356	168	199	367	535	589	1,124
1-2 その日の出来事	315	230	545	355	290	645	352	286	638	1,022	806	1,828
1-3 旅行の予定	150	76	226	156	94	250	190	116	306	496	286	782
1-4 毎日の生活時程	161	91	252	160	121	281	226	114	340	547	326	873
1-5 休日の予定	239	235	474	325	280	605	374	311	685	938	826	1,764
1-6 ショッピング	219	267	486	139	304	443	227	292	519	585	863	1,448
2-1 勉強、宿題、テスト、成績	210	122	332	211	118	329	260	140	400	681	380	1,061
2-2 クラブ・部活動	426	375	801	427	366	793	378	310	688	1,231	1,051	2,282
2-3 学校行事	219	245	464	255	288	543	326	357	683	800	890	1,690
2-4 先生、教科	169	146	315	134	130	264	165	149	314	468	425	893
2-5 進路・将来の夢	245	216	461	229	276	505	390	329	719	864	821	1,685
3-1 映画・ビデオ	219	129	348	271	185	456	285	212	497	775	526	1,301
3-2 テレビ番組	210	227	437	197	240	437	218	181	399	625	648	1,273
3-3 漫画・本・読書	181	167	348	154	150	304	214	165	379	549	482	1,031
3-4 食べ物	70	67	137	71	95	166	90	98	188	231	260	491
3-5 音楽	122	231	353	147	295	442	264	311	575	533	837	1,370
3-6 芸能人	86	199	285	71	233	304	90	191	281	247	623	870
3-7 ゲーム	320	73	393	274	61	335	233	44	277	827	178	1,005
3-8 スポーツ	267	106	373	273	96	369	298	82	380	838	284	1,122
3-9 ペット	73	140	213	68	126	194	89	127	216	230	393	623
3-10 習い事	32	49	81	29	29	58	30	64	94	91	142	233
3-11 自分の住む町	44	29	73	45	33	78	52	30	82	141	92	233
4-1 遊ぶ約束	298	195	493	277	220	497	244	183	427	819	598	1,417
4-2 誕生日、血液型、星座	174	223	397	159	243	402	171	192	363	504	658	1,162
4-3 金や物の貸し借り	96	57	153	101	33	134	118	29	147	315	119	434
4-4 面白いパノング	322	265	587	312	269	581	380	323	703	1,014	857	1,871
4-5 ジョーク・クイズ	222	124	346	208	135	343	238	103	341	668	362	1,030
4-6 異性、恋愛	65	107	172	90	157	247	173	151	324	328	415	743
4-7 友達の紹介	178	188	366	151	204	355	196	286	482	525	678	1,203
5-1 天気、天変地異、自然現象	304	229	533	337	262	599	392	266	658	1,033	757	1,790
5-2 病気、けが	233	157	390	208	172	380	250	203	453	691	532	1,223
5-3 道案内	150	135	285	149	152	301	179	162	341	478	449	927
5-4 日本文化	154	120	274	157	123	280	217	204	421	528	447	975
5-5 ニュース	271	187	458	259	224	483	351	245	596	881	656	1,537

(4) アンケート結果表 - 対象数に対する割合

印は6～10位を示す

設 問	1男	1女	1全	2男	2女	2全	3男	3女	3全	男全	女全	全学
1-1 家族紹介												
1-2 その日の出来事	48%		45%	52%	47%	50%				48%		47%
1-3 旅行の予定												
1-4 毎日の生活時程												
1-5 休日の予定		42%		48%		47%	48%	51%	49%	44%		45%
1-6 ショッピング		48%			49%						48%	
2-1 勉強・宿題・テスト・成績												
2-2 クラブ・部活動	65%	67%	66%	66%	59%	61%	48%		49%	58%	59%	58%
2-3 学校行事		44%			46%			58%	49%		50%	
2-4 先生、教科												
2-5 進路・将来の夢							50%	54%	52%			
3-1 映画・ビデオ												
3-2 テレビ番組												
3-3 漫画・本・読書												
3-4 食べ物												
3-5 音楽					48%			51%			47%	
3-6 芸能人												
3-7 ゲーム	49%											
3-8 スポーツ												
3-9 ペット												
3-10 習い事												
3-11 自分の住む町												
4-1 遊ぶ約束			40%									
4-2 誕生日血液型星座												
4-3 金や物の貸し借り												
4-4 面白いパ〇ンク	49%	47%	48%	46%		45%	49%	53%	50%	48%	48%	48%
4-5 ジョーク・クイズ												
4-6 異性、恋愛												
4-7 友達の紹介												
5-1 天気・天変地異・自然現象	46%		44%	50%		46%	50%			49%		46%
5-2 病気、けが												
5-3 道案内												
5-4 日本文化												
5-5 ニュース												

(5) アンケート結果表 - ベスト5

	トピック	1男	1女	2男	2女	3男	3女
【 学 年 別 ・ 男 女 別 】	1-2 その日 / 昨日の出来事	4位		2位	4位		
	1-5 休日の予定		5位	4位		4位	4位
	1-6 ショッピング		2位		2位		
	2-2 クラブ・部活動	1位	1位	1位	1位	4位	
	2-3 学校行事		4位		5位		1位
	2-5 進路・将来の夢					1位	2位
	3-5 音楽				3位		4位
	3-7 ゲーム	2位					
	4-1 遊ぶ約束						
	4-4 おもしろいハプニング	2位	3位	5位		3位	3位
5-1 天気・天変地異・自然現象	5位		3位		1位		

	トピック	1全	2全	3全	全男	全女	全学
【 学 年 全 ・ 男 女 全 】	1-2 その日 / 昨日の出来事	3位	2位		3位		3位
	1-5 休日の予定		3位	3位	5位		5位
	1-6 ショッピング					3位	
	2-2 クラブ・部活動	1位	1位	3位	1位	1位	1位
	2-3 学校行事			3位		2位	
	2-5 進路・将来の夢			1位			
	3-5 音楽					5位	
	3-7 ゲーム						
	4-1 遊ぶ約束	5位					
	4-4 おもしろいハプニング	2位	5位	2位	4位	4位	2位
5-1 天気・天変地異・自然現象	4位	4位		2位		4位	

(6) アンケート結果の分析・考察

上位5位までの分析・考察

まず男女学年別に、トピックの上位5位までを分析・考察した。項目と支持の多い学年性別は(4)の表の通りである。アンケート結果を集計する前に、生徒の身近な話題・生徒の普段の活動に関するものに興味関心が高いことは予測できた。たとえば、一日の出来事や学校行事、クラブ活動などである。ところが、3年の女子に限っては学校行事や進路に関してもっとも高い関心を示しており、部活動には比較的、関心は低いようである。3年生になると男女とも進路や将来の夢への関心が高くなっているが、これは受験を控えているからであろう。また、ゲームへの関心は低学年男子のみであった。学校行事やショッピングへの関心が女子に、天気や自然への関心が男子に高かった。このように性別で興味関心が分かれることも予想されたことであった。

上位10位までの分析・考察

次に上位10位までを分析・考察した。ここでは、男女差や学年差、興味関心の移り変わりが分かる。

男女の興味関心は違うので、男女差が出る項目を予測はしていた。たとえば女子はショッピング、誕生日・血液型・星座・音楽・テレビ番組に関心があり、男子は映画・ビデオ・スポーツ・ゲーム・遊ぶ約束・ニュースに関心がある。そして、これらから生徒の普段の会話の内容がうかがえる。

学年による興味関心も同じではなく、変化があるだろうということは予測できた。進路については、3年になると関心がでており、女子は2年生ころから意識し始めることがわかった。しかし、男子になると1年生の関心が高く、2年生はあまり関心が無いことは意外であった。1・2年では遊ぶ約束・ゲーム・テレビ番組に興味関心があるのに、3年では無くなっているのは受験が関係しているのではないかと思われる。3年女子が友達の紹介に関心が高いが、これは卒業を控えていることと関係があるのだろうか。

また漫画、本、読書、食べ物といった項目に興味関心が集まるのではないかと予測していたが、これらへの関心は低かった。身近そうな話題に思えたが、英語では話したくないのであろうか、意外な結果が出された。10位までには入らなかったが、人数の多かった項目として芸能人がある。予測としてはもっと興味関心があると思っていたので意外であった。

異性・恋愛に関してはベスト10には入らなかったが、学年が進むにつれて、男子10% 13% 22%、女子19% 25% 24.1%と数字は伸びているのは興味深い。日本文化はベスト10には入らなかったが3年の支持が多かった。男子33%女子22%であった。授業で扱われているからと考えられる。

生徒の興味・関心

生徒の興味関心をもっとも高かったのは「部活動」と「面白い話・ハプニング」である。これらを生かした授業作りを行うためにも、語い・言語材料・言語機能のリスト作成が必要であると考えた。そして、今回は語いが絞込みやすい「部活動」を中心に語いリストを作成した。語いリスト作成にあたって、『新しい英語教育への指針』（大修館書店）の趣味の名称、興味の対象、スポーツと競技の名称の項目を参考にした（第5章 2.32 - 34、第7章 4.2、4.7）が、日本の英語教育の実状に合うように項目立てに工夫をした。語いリストには生徒の実状に合った部活名、人間関係・活動における感情表現などリストアップした。

（7）今後の課題

語いリストは、教師が生徒たちに指導する際の目安となるにちがいない。また生徒にとって、具体的な英語表現が出来る指針となるはずである。

今年度の研究は、まだほんの始まりに過ぎない。今後は、こうした生徒が話したいと思うトピックについて必要とされる言語材料や言語機能を研究し、提示していきたい。さらにはアンケート結果の第2位であった「おもしろい話やハプニング」以下の項目に関しても『Student Talk に役立つ語い・表現集』を作成していきたい。

資料1 語いリスト1(平成9年度版教科書に見られるスポーツ名)

badminton, baseball, basketball
cricket, cycling
dance
football
gymnastics
handball
ice hockey
judo
kendo
skating, ski, soccer, softball, surfing, swimming
table tennis, tennis, track and field (long jump, high jump, 100 meter dash, marathon)
volleyball

平成9年度版教科書に見られる文化系クラブ名

abacus club, animation club, art club, astronomy club
biology club, brass band club (school band), broadcasting club
calligraphy club, cartoon club, chorus club (glee club), computer club, cooking club
culture study club
debating club, drama club
English club, English speaking society, English typing club, embroidery club
(hand craft club)
flower arrangement club
gardening club, go and shogi club, guitar club
history club
knitting club
literary(literature) club
music club
newspaper club
patchwork club, pen pal club, photography club
railway study club, reading club
science club, sign language club, social science club (social studies club)
tea ceremony club

資料2 語いリスト2 (部活動の話題に関する Vocabulary)

1. 場所に関するもの

(1) 運動系

area / athletic field / court / finishing line / goal posts / gym / lane / locker room / starting line / school ground / swimming pool / track / (football) pitch /

(2) 文化系

art room / classroom / changing room / computer room / gallery / home economics room / Japanese room / LL / music room / podium / public hall / school broadcasting room / school library / lab(oratory) room / stage / studio

2. 道具に関するもの

(1) 運動系

bat / ball / bathing suit / glove / goggles / net / racket / shoes / shuttlecock

(2) 文化系

brush / canvas / colors / drawing paper / picture / water colors / painting brush / statue / musical instrument / score / baton / chisel / camera / film / microscope / telescope / ink stick / script / stage properties / computer / disk / key / sewing kit

3. 活動に関するもの

(1) 運動系

game / match / race / set / round / tournament / round robin / the first round / preliminary match / quarterfinal / semifinal / final / goal / point / score / first half / second half / individual match / team competition / player / partner / opponent / seeded team / regular / substitute / rule / foul / offside / corner kick / penalty / free kick / practice game / joint practice / footwork / morning training / uniform / coach / manager / senior / junior / training camp / talent / skill / ability / win the game / beat a team / lose the game / draw a match / win a close game / come in first(2nd /last) / break the rules / (to) foul / belong to a club / leave (drop out of) a club / out of practice / build up one's strength / warm up / serve / smash / shoot / score a goal / receive / spike / attack / throw / hit / pitch / catch / pass / kick / bounce / dribble / dive / train / save / compete / take part in / goof off (さぼる)

(2) 文化系

contest / performance / audience / show / exhibition / prize / script / draw a picture / carve / sew / paint a picture / play a musical instrument / speak / sing / play / arrange flowers / display / write

4. 感情を表すもの

(1) 主に人が主語になる形容詞

bored / cheerful / cooperative / critical / disappointed / disgusted / enthusiastic / ecstatic / excited / exhausted / happy / inspired / irritated / joyful / keen / kind / lazy / magnificent / nervous / nice / perspiring / pleased / proud / satisfied / surprised / severe / strict / upset

(2) 主に物が主語になる形容詞

awe-inspiring / boring / breathtaking / disgusting / fantastic / hard / irritating / incredible / magnificent / painful / severe / spectacular / surprising / wonderful

(3) 動詞 calm down / give up / irritate / please / regret / satisfy

「Student Talk に役立つ語い・表現集」(試作)

	話 題 Topic	語 い Vocabulary	言語材料 Grammar	言語機能 Function
家庭 生活 に 関 す る こ と	1 家族紹介	family / job / school / house/ character / figure	be 動詞/ have /指示代名詞/形容詞	
	2 その日の出来事	place / time / number / feeling / date / food	過去時制/現在完了 / 接続詞/序数/不定詞	
	3 旅行の予定	place / time / number / feeling / date / food / season / vehicle / nature	未来形/不定詞	
	4 毎日の生活時程	place / time / number / room	現在時制/時刻	
	5 休日の予定	place / time / number / feeling / date / event / season / vehicle / nature	未来時制/不定詞	
	6 ショッピング	cloth / color / size / number / goods	助動詞(may / can / could / should / would) / 未来時制/ 不定詞	
学 校 生 活 に 関 す る こ と	1 勉強、宿題、テスト、 成績	subjects / feeling / number / stationary / school	助動詞(must / have to)	
	2 クラブ・部活動	culture / sport / rules / goods		
	3 学校行事	event		
	4 先生、教科	subject / character / favorite		
	5 進路・将来の夢	subject / character / school / job	助動詞(may / can / could / should / would) /未来時制/ 不定詞	
趣 味 や 興 味 ・	1 映画・ビデオ	place / movie	前置詞/ 現在完了 / 助動詞	
	2 テレビ番組	time / program		
	3 漫画・本・読書	genre / feeling		
	4 食べ物	food / cook / material / goods / countries / beverage / place / way		

関 心	5 音楽	genre / electro / instrument		
	6 芸能人	genre		
	7 ゲーム	electro / system / computer / genre		
	8 スポーツ	place / sport/ rules / goods		
	9 ペット	animal / living / feeding		
	10 習い事	piano / swimming / abacus / <i>judo, kendo, karate</i>		
	11 自分の住む町	buildings / direction / souvenir / nature		
友 人 に 関 す る こ と	1 遊ぶ約束	time / place / event / object	不定詞/接続詞 /命令形/助動詞(shall)	
	2 誕生日、血液型、 星座	date / blood type / constellation	名詞	
	3 金や物の貸し借り	money	助動詞 will / can / could / may / should / would)	
	4 面白い話、コング	happening / story telling	接続詞 / 話法 / 過去時制/ 現在完了	
	5 ジョーク、クイズ	joke / quiz / TV program	疑問詞 / 現在完了 / 進行形 / 接続詞	
	6 異性、恋愛	affection	命令形 / 話法 / 助動詞(may / would)	
	7 友達の紹介	introduction / name		
そ の 他	1 天気、天変地異、 自然現象	weather / temperature / nature / date / atmosphere / time	未来時制 / be 動詞	
	2 病気、けが	body / illness / medical		
	3 道案内	buildings / direction / place / length / way	命令形	
	4 日本文化	culture / festival / tradition / transmission		
	5 ニュース	news / broadcasting / program / station / communication	話法	
	話 題 Topic	語 彙 Vocabulary	言語材料 Grammar	言語機能 Function

3 第3部会 prepared speechからunprepared speech につなげる指導

(1) テーマ設定の理由

生徒たちの「英語を話せるようになりたい。」という願いを叶えたい。そのためにはどうすればよいかを考えた。原稿を用意して英語を話す段階から、その場で考えて話す段階まで、段階を追って指導していけばよいのではないかと結論に至った。よって本部会では prepared speech から unprepared speech に至る研究を始めることにした。

なお本部会では speech を一般的な public speaking のみでなく、生徒の"utterance"「発話」を全て含むものとして定義した。これには speech, skit, show and tell, chat など含まれる。

(2) 成果と課題

今年度の部会では部員から多くの実践例を集め、それらの中に見られる共通の成果と課題についてまとめてみることにした。

prepared speech の成果

語いを増やすことができた。

語い使用の機会を与えることによって、語いの定着をはかることができた。

語に一貫性を持たせることにより、論理的な思考を育むことができた。

sense group を意識した発話ができるようになってきた。

モデル文を与えることにより、slow learner も speech 活動に参加できた。

音読に対する生徒の意識が高まった。

delivery の練習により、感情表現が豊かになった。

自己表現の喜びを味わわせることができた。

言いたいことが、難しい表現を使わずに既習語いを使って簡単に言い表せることを指導できた。

prepared speech の課題

モデル文の提示があると originality が失われる可能性がある。

聞き手にわかるような語いや表現を使って話させることが必要である。

身近なことを言い表すにも生徒の既習語いが不足している。

指導に必要な時間数の確保が難しい。

原稿のチェックに時間がかかる。

間違えたままの表現を覚えてしまった生徒がいたので、accuracy を指導する必要性がある。

(3) prepared speechから unprepared speechへのbridging活動の例

実践例1 《第2学年の活動例 - 2学期9月》

夏休みの思い出を Show & Tell の形式をとりながらスピーチをする。その時、話し手は聞き手に対して、その内容に関連したことを問い掛けながらスピーチする。話し手が聞き手に問い掛ける形を取り入れることによって、聞き手も積極的にスピーチを聞き、かつ聞き手でありながらも話す機会が与えられる。スピーチが終わった後、その内容に関する質問を聞き手と ALT から受けスピーチの内容を広げる。

下線は speech 原稿にはない生徒の発話。()内は聞き手側からの発話。

《生徒の speech 例 1》

Hello, friends. I'm going to tell you about my summer vacation. (日本地図を指して) What prefecture is this, A-kun? (Niigata.) That's right. I visited Niigata with my family this summer. My sister and I ate watermelons every day. I was very happy. Did you go to the sea this summer, B-kun? (No, I didn't.) I went to the sea and saw the fish. They were very small. I saw many stars at night. They were very beautiful. I was impressed. After I got back to Tokyo, I played soccer. (パンを見せて) Look. I got it at the stadium. Thank you. Do you have any questions?

Student A: (Do you like Niigata?) Yes I do. I like Niigata.

Student B: (How many watermelons did you eat?) I don't know.

ALT: How long did you go to Niigata for? Seven. Seven days.

ALT: What's your favorite soccer team? Once more, please.

ALT: What's your favorite soccer team? Sorry once more, please.

ALT: Your favorite soccer soccer team. What's the name?

《生徒の speech 例 2》

Hello, friends. I'm going to tell you about my summer vacation. I went Toshimaen with my friends this summer. I got up at five thirty and arrived there at seven thirty. I enjoyed swimming and a roller coaster. (絵を見せて) Look. What's this? (Water slider.) Yes, that's right. Especially I enjoyed the water slider. I came home at nine thirty. I was very tired, but I had a good time. I got tan. Thank you. Do you have any questions?

Student A: (How much was Toshimaen?) I forgot.

Student B: (When did you go?) August 11th.

Student C: (How was the weather?) Fine.

Student D: (How long did you stay?) Nine hours.

Student E: (Who did you go with?) Many friends. A-kun, B-kun, C-kun, D-kun,

ALT: What did you eat? Ramen and juice.

実践例 2 ディベート型トーク

(1) 活動の紹介

自分と対話相手がある一定の時間(2～3分間程度)一つの命題について賛成・反対に分かれ、英語で自分の主張を述べ、対話相手と意見を交わす活動である。具体的にはALTと意見交換をするトーク(資料1)、対話生徒の勝ち負けを判定する対決型トーク(資料2)がある。

(2) 目的・意図

これまでに実践してきた2分間トークやチャットでは、趣味や家族等の話題でそのトークの時間を費やし、事実報告・情報交換をするのみであった。そこにはメッセージのやりとりはあるものの、一貫性や継続性にやや欠けるものも見られた。その欠点を補い、論理的構成や英語での思考過程を習得する為にも、このディベート型トークが最適と考えた。これにより生徒達が積極的に自己の意見を主張できるようにし、英語で議論できるようになることを意図するものである。

(3) 成果と課題

ア 成果

昨年度からの数分間トークを継続的に実践してきた結果、ほとんどの生徒が何も見ないで impromptu に英語でのトークが可能になってきた。

昨年度に比べるとほとんどの生徒が、数分間以上一つのトピックで対話が続くようになった。

教科書の音読活動がかなりの点で speaking への橋渡しになった。

ほとんどの生徒が、発話の中に自己の意見やメッセージを含み、積極的に発言できるようになってきた。

イ 課題 一つの話題では対話が続きづらいものが見られる。

資料1 (ALTディベ-ト型ト-ク/ALTとの意見交換型)

(注意) 太字は prepared させている部分、イタリック体の文字は過去に指導した表現

A L T

T , Y さん

Let's talk about the picture, Tamami.

How do you feel about the photo?

Do you support him? or are you against Kevin Carter?

I support him, because he focused the world attention on the Sudan. This helped many other starving Sudanese.

Umm ~ , Umm ~ , Without his photo, Sudan could not get help, and this photo will be a ~ , very ~ , great help to Sudan. I think this photo ~ , this photo is very important for us to know the war. How about you?

I do agree with you. But most of thinking about the child, I feel very sorry about the child.

How did you feel about the photo, when you look at it.

Yes, very shocking. You were very shocked.

If you were Kevin Carter, what would you do?

Very shocked.

Umm ~ , taking a picture, after, save the child.

Yes. That's a good choice.

How about you?

I would do the same. I would take a picture, right away help the child.

Yes. I agree with your opinion. Umm ~ ,

(silent ~ laughing)

Umm ~ . He is a photographer, umm to do so is his duty.

Yes, also his duty is to help, I think. Do you agree?

I think so. But he helped many starving Sudanese.

Right. Yes ~ .

Nice talking with you.

Thank you for talking.

資料2 (生徒対決ディベート型トクノ2分間バトルトク - - - - 2分間)

T, M君

T, K君

I am against him. I have two reasons about that.

When I saw the photo, I am ~, I was surprised, and felt sad and shocking and so on. He took the picture without saving the child.

Second, NHK TV program said, "Why did do nothing for her?" I think so, too. And human life is the most important of all.

How about you?

I don't think so. Because, with his photo, UNICEF of today is playing an active part in the world.

Which do you think better, to help one girl or to help many people in Sudan?

Yes. To help many people in Sudan is important. But he had to save the child before everything. Umm ~. If he didn't take the picture, he could speak to everyone. (about that)

Umm ~, umm ~. Which do you think better, for peace in the world, or one girl's life?

Yes. Yes, ~. It's the same level.

I don't think so. I wish peace ~, for peace in the world. How about you?

But she was dying. So I felt sad and shocking. *Do you think that?*

I don't think so.

Human life ~. Do you think human life is the most important?

(2分経過の為、対話途中で終了させた。)

4 第4部会 Student Talk の変容（録画による継続的授業研究）

（1）研究テーマ設定の理由

Student Talk は様々な要因で変化していく。指導法、環境、Teacher Talk の影響により、生徒の発話は質、量ともに変化していく。これまでの研究部の研究では、Teacher Talk が生徒の発話に大きく関係していることが分かっている。

これまでの研究部での研究成果を踏まえて授業づくりをし、授業の記録をしている。具体的には、研究部員の授業を学期に1回ビデオおよびMD、カセット等で記録し、Student Talk を分析した。記録後には教師と生徒の発話を文面におこし、授業の改善点を話し合い、次の授業に生かしていった。部員の担当学年、クラスサイズや状況はそれぞれ異なっているが、意図的に授業を改善していくことで Student Talk の質、量はどのように変化していくのかを考察していく。昨年度の研究の実践紹介を今年度より実証をしていき、Student Talk を質、量共にのばしていくためのヒントを共有できればと思っている。

このようなテーマに基づき、研究部員の授業を継続的に記録している。今年度は、その記録方法と計画について紹介し、次年度その成果を発表する。

（2）記録方法

使用機材

MD (Sony MZ-R55)：ターゲットの生徒にピンマイクで取り付け録音。

Digital Video Movie (Victor GR-DVL)：クラスの全体の様子を録画。

ガンマイク(Sony ECM-G3M)：指向性が高く、小さな声の発話も録音可能。

カセットレコーダー

記録方法

ア 同じクラスで各学期に1回、年間計3回上記の機材を使用し、授業を記録する。

イ ビデオを使い、授業の全体像が分かるようにする。

ウ 年間を通して同じ生徒の変化を見るために、MDやテープレコーダーを使い、その生徒の発話を記録する。

エ ガンマイクを使い、声の小さい生徒の発話も記録できるようにする。

オ 記録したデータを実際に文面に起こし、変化を比較できるようにする。

カ 記録後には、部員で授業の改善点を検討し、次の授業に生かすようにする。

（3）授業のねらい

生徒の英語の発話量を増やしていくためにはどうしたらよいのであろうか。研究部では昨年度、様々な授業実践例を収集した。どの実践でも、生徒の発話量を増やすためには計画的な指導が必要である。そこで、私たちは学期ごとに指導目標を設定し、生徒の発話を増やす工夫をしている。質問に対してYes, Noの返事の後にもう1文加えることや、会話練習において、相手の発言を繰り返すなどの指導がそのうちのいくつかである。相手に聞き返したり、感想を言うための表現も

伝えていく予定である。以下に現在記録を続けている部員と実践内容を紹介する。それぞれターゲットにしている活動は異なっているが、お互いにアドバイスをしあい、改善をしながら授業をすすめている。

授業者 1 大田区立御園中学校 山本 崇雄

学年 3 学年

内容 Role Play Card を使ったスピーキング活動における Student Talk の推移。

計画 第 1 回記録 平成11年 7 月 2 日

第 2 回記録 平成11年12月21日

第 3 回記録 平成12年 2 月

授業者 2 板橋区立板橋第四中学校 田中 久美子

学年 1 学年

内容 ペアワークでの Student Talk の推移。

計画 第 1 回記録 平成11年 7 月13日

第 2 回記録 平成11年11月17日

第 3 回記録 平成12年 2 月

授業者 3 大田区立羽田中学校 丸山 篤広

学年 2 学年

内容 Show and Tell を使ったスピーキング活動における Student Talk の推移。

計画 第 1 回記録 平成11年 6 月24日

第 2 回記録 平成11年10月14日

第 3 回記録 平成12年 2 月

(4) 今後の課題

この授業記録は、はじめはビデオのみでの記録であったため、なかなか思うように生徒の発話を記録することができず苦労した。2 学期にはMDレコーダーとガンマイクを使用し、記録の質を高めることができた。生徒の発話を効果的に記録していく方法は今後も改善を続けていく。

今年度の記録をもとに、Student Talk のデータを分析し各授業を検証していく予定である。Student Talk の量の変化は分かりやすいが、質の変化をどう捕らえていくかも今後の研究課題にしたい。授業記録は研究部での研究の成果を生かしながら、今後も継続して行っていく。次年度は Student Talk の量だけでなく質も高めていく活動を共有できればと考えている。

今後の課題

昨年度は、個々の指導・評価活動について突っ込んだ話し合いが十分できなかった。そこで今年度は、昨年度の「今後の課題」にあげられた項目を中心に研究部を4つの部会に分けて研究を進めることにした。

研究を進めるうちに全体の意志の疎通を欠くといったマイナスの側面も見られたが、各部会では研究部本来の少人数による緻密な研究をすることができた。これまでに出された各部会および研究部全体の課題は以下の通りである。

第1部会

- (1)日本人中学生の英語学習者コーパス作成のためのデータ収集方法の確立
 - ・ Student Talk のデータ収集体制
 - ・ 音声や記述された形での Student Talk データのデジタル化方法
- (2)学習教材や指導方法への活用に生かすために必要な分析方法についての検討

第2部会

- (1)アンケート結果の授業へのフィード・バック
- (2)概念 (notion) と機能 (function) を盛り込んだ語いリストの作成

第3部会

- (1)prepared speech から unprepared speech への橋渡しとなる活動の実践と検討
- (2)unprepared speech の実践と検討

第4部会

- (1)授業記録方法の工夫と改善
- (2)授業記録のデータ分析とその活用法

全体として

- (1)各部会の連携
- (2)実践の蓄積

参考文献

- J. A. van Ek and J. L. M. Trim 著 米山朝二・松沢伸二訳 1998 『新しい英語教育への指針 - 中級学習者レベル<指導要領>』大修館書店 原題 *Threshold Level* 1990
- ニコルソン・プログラマツト WordSmith Tools (Oxford Press)
- 井上永幸 1999 『コンピュータを使った英語教師のための英語研究』Cornucopia Winter 桐原ユニ
- 投野由起夫 1999 『英語教育におけるコーパス利用最新動向レポート』Cornucopia Winter 桐原ユニ
- 鷹家秀史、須賀 廣 1998 『実践コーパス言語学』桐原ユニ

編集後記

本年度も新たに4名の部員を加え、Student Talkの研究が始まった。一昨年度からの引き続いての研究である。

本年度の活動の特色は大きく2つある。まず1つは、研究の迫り方に工夫をした。今までは全員で同じテーマを同時進行で取り組んできた。それを今年は、メインテーマのもとに部員を4つの部会にわけ、少人数で課題に取り組みやすくした。そうすることによって Student Talkの諸相に、少しは多角的に迫れると考えたからである。

もう1つは今まで以上に、お互いの授業を見合うことに力をいれた。「研究は日頃の授業から」という原点に立ち戻るためである。

そんなふうに進めてきたものの、やはり課題はいくつもある。しかし研究はいかにあるべきかを常に考えながら、これからも部員の知恵を出し合いながら、より良い方向をめざして頑張っていきたい。それだけに毎月の定例会で、夜遅くまで議論を交わしたことを忘れられない。

最後になりましたが、この研究を進めるにあたって東京都中学校英語教育研究会宗方隆三会長や、夏休みに英国ランカスター大学から一時帰国された際に、私たちに直接ご指導下さった投野由起夫先生をはじめ、多くの方々のご協力とご指導に心から感謝申し上げます。

2000年 2月10日 備里川 正人(研究部長)

今年度の研究に携わった研究部員(東京都中学校英語教育研究会研究部)

備里川 正人(足立区立新田中学校)	北原 延晃(町田市立本町田中学校)
杉本 薫(中央区立佃中学校)	石井 亨(江東区立南砂中学校)
日台 滋之(東京学芸大学附属世田谷中学校)	野口 弘子(東京都立南大沢学園養護学校)
鬼山 由美子(足立区立第九中学校)	二宮 正男(町田市立忠生中学校)
鶴田 峰子(中央区立日本橋中学校)	滝之入 道隆(江東区立第三砂町中学校)
原田 博子(江東区立深川第五中学校)	阿久津 仁史(三鷹市立第四中学校)
国分 桃()	吉岡 千恵子(品川区立八潮中学校)
三浦 邦彦(東京大学教育学部附属中学校)	横山 牧子(八王子市立宮上中学校)
伊地知 義信(豊島区立西巢鴨中学校)	米田 隆(武蔵村山市立第五中学校)
小坂 きみ子(府中市立府中第七中学校)	福井 洋子(多摩市立豊ヶ丘中学校)
大河 由起子(足立区立蒲原中学校)	滝口 均(新宿区立牛込第一中学校)
関口 智(墨田区立両国中学校)	湊内 明(大田区立東調布中学校)
山本 崇雄(大田区立御園中学校)	稲葉 高広(世田谷区立尾山台中学校)
萩坂 雅之(豊島区立長崎中学校)	坂田 恵子(練馬区立練馬東中学校)
丸山 篤広(大田区立羽田中学校)	大貫 由季(杉並区立和田中学校)
今村 美苗(足立区立江北中学校)	
事業部所属 明石 達彦(港区立御成門中学校)	田中久美子(板橋区立板橋第四中学校)

研究部のホームページ <http://www.eigo.org/kenkyu>

発行 東京都中学校英語教育研究会
会長 宗方隆三（港区立芝浜中学校）

編集 東京都中学校英語教育研究会研究部
研究部長 備里川正人（足立区立新田中学校）

発行日 平成12年 2月10日